

# IMS Miyoshi


イムス三芳総合病院広報誌 変し愛されるIMS

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

10月21日

予約受付中

日曜 + 乳がん検診



当院ではマンモサンデーの取り組みを実施しています。マンモサンデーとは、日曜日に乳がん検査を受けられる日です。子育て、介護、仕事など多忙な平日をお過ごしの方の皆さまへ向けた取り組みで、認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）がピンクリボン活動が活発に行われる10月に合わせ、全国的に10月の第3日曜日にマンモグラフィー検査が受診できる環境作りを目指しています。今年度は10月21日に実施され、当院でも予約制で乳がん検診が利用できます。

## 日曜日に行える乳がん検診

検査内容	金額 (税込)
乳がんセット (マンモグラフィー検査 + 乳腺超音波検査)	¥5,000 (通常 9,800円)

【お問合せ・予約受付先】  
健診専用ダイヤル  
TEL : 049-265-3191

## ピンクリボン運動とは？

ピンクリボン運動とは、乳がんについての正しい知識を多くの人に知って頂き、その結果乳がんから引き起こされる悲しみから1人でも多くの人を守るための活動です。アメリカで始まり、この願いを込めて作ったリボンからスタートしました。日本でも認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）により「受けよう 乳がん検査 早期発見で 笑顔の暮らし」を合言葉に啓蒙活動が行われています。乳がん月間にあたる毎年10月には特に活発にイベントなどが開催され、参加者は、ピンクのリボンを掲げたり、ピンクを基調とする色づかいで周知を促します



### 教えて！ 乳腺外科医 木田先生!!

当院・乳腺外科医の木田先生に乳がんや乳がん検診について、気になる質問に答えて頂きました。

乳がんは女性の11～12人に1人が罹ると言われています。発見が遅れると生命に関わる可能性があります。早期発見できれば、ほぼ治る病気になってきています。腫瘍がないうちに見つけることが重要なため、ぜひ定期的に検診を受けていただければと思います。



乳腺外科  
きた たかし  
木田 孝志医師

乳腺超音波認定医  
検診マンモグラフィ読影認定医  
日本外科学会専門医  
岡山大学 医学博士号

#### Q. 検診は何年に1回受けたいですか？

A. マンモグラフィーは2年に1回、超音波エコーは毎年受けていただきたいです。厚生省の調査によると、年代別乳がん罹患の割合は40代がピークとなります。30代後半からは積極的に乳がん検診を受けることをおすすめします。

#### Q. 乳がんになりやすいライフスタイルはありますか？

A. ライフスタイルとしてはっきりしたものはないかと思います。ただ、日本乳癌学会『乳癌診療ガイドライン』によると、妊娠経験がない方やご家族に乳がんの既往がある方は乳がんになりやすいと言われています。

#### Q. セルフチェックはできますか？

A. セルフチェックすることは可能です。定期的にチェックすることで普段の乳房の状態が分かり、変化に気づきやすくなります。詳しいやり方については、J.POSHのホームページをご覧ください(<http://www.j-posh.com/checkup/selfcheck/>)。

#### Q. 乳がん検診の最近の動向を教えてください。

A. 検診での触診は行わなくなってきています。また、高濃度乳房の方はマンモグラフィーで撮影すると乳房全体が白く写るため、白く写るがん細胞の判別が難しいことがあります。その際は超音波エコー等を用いて検査します。がんが疑わしい際は、MRI検査も追加で行うこともあります。



## マンモグラフィとエコーの違いは？



マンモグラフィは乳がん発見に有効な検査方法です。  
 しかし、高濃度乳腺の場合、乳腺も白く映ってしまうため画像上でがん細胞が見つかりづらくなってしまいます。  
 高濃度乳腺は35歳以下の若い方に多いと言われており、そういった方には超音波エコーを受けていただくことをおすすめしています。  
 また、超音波エコーは放射線による被ばくがないので毎年受けていただくことが可能です。



当院では乳腺外科の木田孝志先生が女性スタッフ同席のもと行っています。  
 何か乳がんについて不安な点等があれば、ご相談ください。  
 また、その場で医師が直接画像の診断も行えるため、万が一の場合も、すぐ次の検査の予約に進むことができます。



## 当院のマンモグラフィ検査

### マンモグラフィ検査とは？

マンモグラフィ検査とは乳房専門のX線検査のことです。  
 板状のもので乳房をはさみ、圧迫して撮影します。  
 乳房を圧迫するのは、平らにして撮影することで病変をより鮮明に写し出すとともに厚みを薄くすることでX線の被ばく量を減らすためです。  
 マンモグラフィは、乳がんの初期症状である微細な石灰化などを検出できるため、早期発見につながります。

当院では全て女性技師が担当し、撮影を行います。  
 さらに、緊張感を減らすため、照明やプライバシーの保護に配慮して撮影を行っています。



### 検査は痛い？

人によって痛みの感じ方はそれぞれです。  
 生理前の検査は乳腺が張っていて痛みを強く感じる場合があります、乳房を平らにしにくくなるので避けた方がよいでしょう。  
 生理が始まって7～10日後位の時期に受けるのが望ましいでしょう。  
 また胸の大きさが撮影に影響することはありません。

### 受診の際の注意点は？

検査当日は制汗剤などは使用しないで下さい。  
 レントゲンに写ってしまうことがあります。

また当院では、下記の方へは安全面から検査をすることができません。

- ◆ペースメーカーを挿入している
- ◆豊胸している

日曜

+

乳がん検診

追加開催

♥2018年11月18日(日)、♥2019年2月24日(日)も開催  
 ご予約は、TEL: 049-265-3191 (健診専用ダイヤル) まで



# 各部署紹介

## 第2回

HELLO!!

# 薬剤部



当院では、約 600 人の職員が地域の皆さまの健康に役立つべく、就労中です。職員がどこで・どのように働いているのかシリーズでご紹介。第2回目の今回は、「薬剤部」についてお伝えいたします。

薬剤師は、日本化学療法学会などの専門認定を取得し、患者さんの病名や検査値などの情報と薬学の専門知識に基づき、処方箋に記載された薬の量や使い方、飲み合わせなどを確認、さらに処方内容に疑義があれば処方した医師に問い合わせし、患者さんに寄り添った安心、安全な薬物療法の提供に努めています。当院で薬剤師が主に行っている業務をご紹介します。

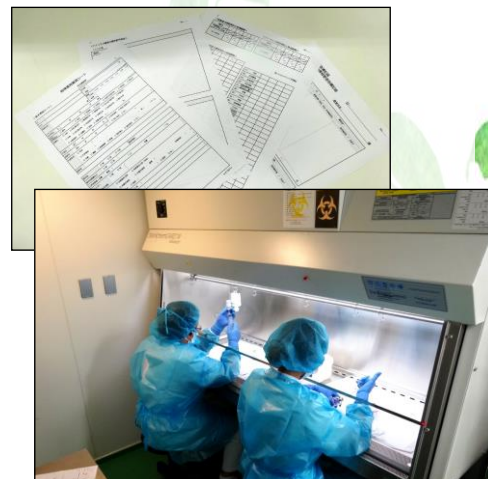
## 質の高い安心・安全な薬物療法の提供に向けて

### がん化学療法への関与

がん化学療法実施前の面談にて、気をつける副作用症状や日常生活の注意事項などの説明と確認、さらに検査値を確認し安全性の確保を図っています。なお、抗がん剤の混合調製は、無菌室で行っています。

### お薬の管理

毒薬や麻薬、向精神薬等のお薬は、各「医薬品医療機器等法\*」、  
「麻薬及び向精神薬取締法」を遵守し、適切に管理しています。  
(\*平成 26 年に薬事法が  
改定されたもの)



### 医薬品情報の収集、提供

厚生労働省が発行した「緊急安全性情報」や「医薬品医療機器等安全性情報」など薬に関する最新の安全性情報を収集・管理しています。情報は、必要に応じて編集し、迅速に医師、薬剤師、看護師をはじめとする医療スタッフに提供しています。

### 病棟薬剤業務

肝機能や腎機能などの検査値を確認、さらに副作用の初期症状が出ていないかの確認などを行うことにより、患者さんに適した薬の投与量・投与方法を積極的に提案し、お薬が安全で有効に使用されるよう医師と話し合っています。

### チーム医療での活動

薬剤師は、薬に関する専門スキルを発揮し、栄養サポートチーム、感染制御チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、褥瘡対策チーム、緩和ケアチームなど多くのチーム医療に参画し、質の高い安心、安全な薬物療法の提供に取り組んでいます。



24 時間救急対応

お問い合わせ先



049-258-2323(代)

救急の場合は 24 時間体制で、できる限り対応しております。診察可能かどうか必ずお電話で確認してください。

発行:



IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会

# イムス三芳総合病院

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3

TEL 049-258-2323 (代)

2018 年 vol.13 編集担当: 広報委員会